

# おやこクラブの意義・目的

## おやこクラブとは？

こどもたちの豊かな心と健康な体を育てるために、同じくらいの月齢や年齢のこどもを持つ保護者同士が、子育ての喜びや悩みを共有しながら、親子の仲間づくりをすすめていくクラブです。保護者自身もこどもの成長と共に、学びあい、育ちあえる場でもあります。

小学校区・中学校区にほぼ1つおやこクラブがあり、定例会を開催しその様子はお便りやSNSで発信しています。定例会は週1回から月1回程度あり、公民館や公園などを利用して活動しています。会では、親子のふれあい遊び、育児や健康に関しての話し合いや学習、保健師への相談、講演会などを行っています。また、郷土の文化をこどもたちに伝えるための行事や、愛育委員、栄養委員、保育園など、地域との交流もしています。

## 地域で子育てするってどういうこと？

こどもは親と子だけの関係では大きくなれません。ご近所や保育園・幼稚園・学校・社会と、人間関係は発展し、そのなかで人として大きく成長していきます。

地域は家庭から一歩出た最初の社会です。おやこクラブの友達、保護者の方、そして地域の愛育委員さんや栄養委員さん方、親子ともになんでも話せる友人があり、悪いことをすれば叱ってくれる人間関係があることは、とても大切なことです。

親と子を取り巻く地域や社会が健やかであることが、健やかなこどもを育てることにつながります。

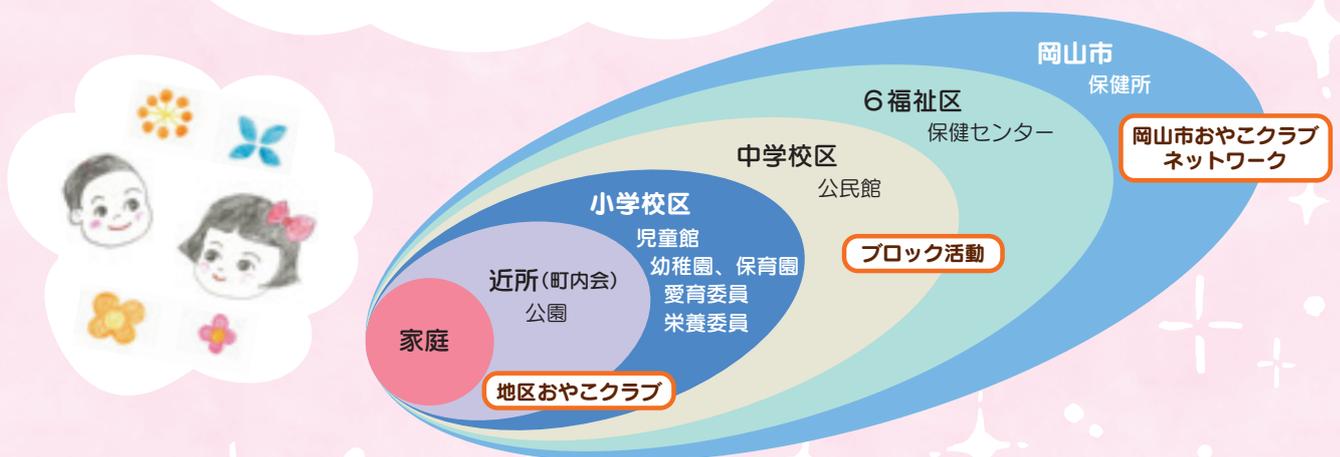
## 学びあい・育ちあい

おやこクラブは、保護者の自主運営に基づき、企画・運営などは保護者のアイデアを持ち寄って開催されるので、保護者の連帯感や達成感を味わえ、苦楽を共にしたという共通意識でがっちりスクラムが組める主体的・積極的な行動を起こす場所です。

自分の得意分野を再認識し、活かせる場所を見つけられる。そんな自己実現の場です。

## 保健師(行政)の役割は？

岡山市保健所におやこクラブネットワークの事務局を置き、行政機関の保健師として会の運営や悩みなどの相談に乗り、おやこクラブを支援しています。一人でも多くの親と子が地域で仲間づくりができるおやこクラブに入ってもらえるよう、積極的に声かけをしています。また、こどもの健康や育児等の知識や情報を提供したり、相談を受けたり、会の中で悩みを共有し、解決の糸口が見つかるよう支援します。



# 岡山市おやこクラブ

クラブ数122  
親子/8,526人

8ブロック 82地区  
親/4,419人 子/5,078人

昭和60年

★岡山市母子クラブ研究協議会発足  
(現在：岡山市おやこクラブネットワーク)



平成7年

★10周年記念事業の実施



講演会「乳幼児期の愛情の処方箋」  
講師：森 崇先生（当時：津屋崎病院副院長）

## ★ 活動の始まり 昭和

- 昭和33年 愛育委員の支援により、小串地区を皮切りに、小学校単位として、次々に幼児クラブが発足し、母親の学習を中心とした活動が始まる。
- 昭和50年 保健師とともに、母と子の健やかな発達を願って、健康を中心とした活動が急速にひろがる。
- 昭和57年 第1回岡山地区母子クラブ交流会をもち、個々の母子クラブからクラブの実情を出し合い、交流の必要性を話し合う。  
母子クラブだより1号(第1回岡山地区母子クラブ交流会の報告)を発行する。その後“通信あんだんて”となる。  
**岡山地区母子クラブ研究協議会と名称を定める。**  
※以下「母研協」に省略
- 昭和58年 第5回母子クラブ交流会「つどいませんか、はだしになって」をテーマに武道館に1,596人の母と子が集い、母研協の基礎を確立した。  
岡山市全体の母子クラブ現状調査を実施。
- 昭和59年 岡山地区母子クラブ研究協議会として手記集を発行。  
岡山市健康づくりのつどいに参加。以降毎年参加する。  
**昭和59年度総会に於いて、各支所も含め、岡山市母子クラブ研究協議会となる。**
- 昭和60年 **昭和60年度総会に於いて、岡山市保健衛生課(現：岡山市保健所健康づくり課)に事務局設置を承認される。**  
臨時総会を開催し、正式に会則が成立する。  
ブロック活動を中心に研修会・会長交流会を開催する。  
〈活動目標〉  
○地域の中に母子クラブの輪をひろげましょう。  
○21世紀を担う健康な子どもたちに育てましょう。
- 昭和61年 「おやつアンケート」を実施。母研協の活動をとおして各母子クラブ活動を支援。
- 昭和62年 「おやつアンケート」をふまえて、「おやつフェスティバル」を13会場で開催。
- 昭和63年 昭和63年度総会で地区母子クラブに組織を確立。会則を改正する。

## ★ 活動の発展

- 平成元年 町内会単位から小学校区にまとまり、地区母子クラブとして活動する。  
活動テーマ「母と子の生活を見直しましょう」を決める。
- 平成2年 総合文化体育館での岡山市健康づくりのつどい「子育て教室」に、1,664人の母と子が集い、「親と子が学ぼう・遊ぼう輪になって」をテーマに研修・交流した。
- 平成5年 **母子クラブが岡山市の補助事業として認められ、活動費の補助を受ける。**
- 平成7年 **母と子の健康づくり普及啓発事業として岡山市から委託される。**  
母子クラブ研究協議会だより“通信あんだんて”を作成する他、育児・健康情報パンフレット「のびのび子育て」を作成し、健診時などに活用される。  
**10周年記念事業を開催する。**
- 平成8年 **10周年記念誌を発行する。**
- 平成9年 活動テーマが「笑顔、友達、楽しい子育て」に決まる。
- 平成10年 **岡山市の保健センター開設に伴い、6ブロック体制で活動に取り組む。**幅広く、保護者(父、祖父、祖母等)を対象とした活動を展開していくために、「岡山市おやこクラブネットワーク」に名称変更する。  
**健康子育てグループ活動として、国から補助事業と認められ、活動費の補助を受ける。**
- 平成11年 「子育て教室」を開催。総合体育館へ557人の親子が集い、研修した。
- 平成13年 「全体交流会」を開催。東保健センター(現：中区保健センター)へ各地区会長が集い、子どもの発達とあそびについて学んだ。
- 平成14年 「食育」を考へて中央ブロックが全体交流会を開催。(平成14～16年開催)
- 平成15年 平成14年度に引き続き、サブテーマ「親から子へ伝えよう 食べることの大切さ」に基づき、食について学んだ。

# ネットワークのあゆみ

6ブロック 80地区  
親/2,756人 子/3,199人

平成17年  
★20周年記念事業の実施



シンポジウム  
「家族・友達・地域の輪」  
～ゆとりの子育て、  
笑顔がキラリ★おかやまっ子～  
絵本のよみきかせ、生演奏

6ブロック 72地区  
親/1,505人 子/1,728人

平成27年  
★30周年記念事業の実施



講演会「温かいつながりの中で子どもたちを育む」  
～みんなの子ども みんなで育てる～  
講師：赤迫 康代氏  
(当時:NPO法人子どもたちの環境を考えるひこうせん代表)

## ★平成

- 平成18年 20周年記念事業を開催する。  
20周年記念誌を発行する。  
岡山市愛育委員協議会との懇話会を開催。互いの活動を知り、地域での子育て支援について話し合う。
- 平成19年 市町の合併に伴い、御津・灘崎地区おやこクラブが岡山市おやこクラブネットワークに加入となる。
- 平成20年 市町の合併に伴い、建部地区おやこクラブが岡山市おやこクラブネットワークに加入となる。
- 平成21年 市町の合併に伴い、瀬戸地区おやこクラブが岡山市おやこクラブネットワークに加入となる。  
岡山市の政令指定都市への移行に伴い、6ブロック体制から5ブロック体制とし、ブロックの名称を「北区中央ほしブロック」「北区北ゆきブロック」「中区つきブロック」「東区はなブロック」「南区そらブロック」と決める。また、ブロックのロゴマークを作成する。
- 平成22年 親子で楽しく食育をすすめるためのオリジナルレシピ集「親子で楽しく作るうくッキング♪」を作成する。
- 平成23年 岡山市おやこクラブネットワークの紹介パネルを作成する。
- 平成24年 岡山市おやこクラブネットワーク食育レシピ「秋野菜でつくる簡単おやつ～」を作成する。
- 平成25年 5ブロック体制から6ブロック体制とし、ブロックの名称を「南区西そらブロック」「南区南おひさまブロック」と決める。また、ブロックのロゴマークを作成する。
- 平成26年 おやこクラブ健康パネルを作成する。  
“通信あんだんて”の作成内容について検討、併せてロゴマークも募集し新しく作成する。  
おやこクラブ活動パネルを作成する。
- 平成27年 30周年記念事業を開催する。
- 平成28年 30周年記念誌を発行する。

## 活動の変化 令和

- 令和2年 新型コロナウイルス感染症の流行により活動自粛。感染予防に気を付けながら活動を再開。会食やおやつは中止。  
令和2年度総会を書面で実施。  
“通信あんだんて”発行終了。  
「こそだてばけっと」で各地区の活動紹介。
- 令和3年 令和3年度総会をオンラインで実施。  
各会長が自宅にて出席した。
- 令和4年 令和4年度総会をオンラインで実施。  
各ブロックの会場に分かれて開催。
- 令和5年 令和5年度総会をオンラインで実施。  
北区中央ブロック、北区北ブロック、中区・東区ブロック、南区西・南区南ブロックの4会場に分かれて開催。  
おやこ情報誌「HUGHUG」に掲載。
- 令和6年 令和6年度総会を集合型に戻して開催。
- 令和7年 40周年記念事業を開催。
- 令和8年 40周年記念誌を発行する。



# おやニクラブ発足の歴史

	北区中央	北区北	中 区	東 区	南区西	南区南
昭和30年					白石西地区 (現御南・陵南地区) 吉備地区※	
昭和31年		足守・大井地区		金田地区(現開成地区)		
昭和32年				平島地区		
昭和33年				御休・角山地区		小串地区
昭和34年			三敷地区	浮田地区		
昭和35年				大宮地区(一時途絶え、S63年再開)		
昭和36年					福田・妹尾・箕島地区	
昭和37年				太伯・幸島地区	曾根・興除・東睦地区	
昭和38年		高田地区	高島地区			福島地区
昭和39年		福谷地区			第1・第2・第3藤田地区	
昭和41年			宇野地区			
昭和42年	牧石地区		操南地区	古都地区		
昭和44年				雄神地区		
昭和45年	御野地区	中山・馬屋下・平津・桃丘・ 庄内・鯉山・加茂地区		長沼地区(現豊地区) 朝日・西大寺・豊 地区		福浜地区
昭和48年		伊島・津島地区				
昭和49年						南輝地区
昭和50年	鹿田・大野地区	津高地区親子集いの場 (現横井地区・現野谷・馬屋上地区)	旭竜地区			
昭和51年						平福地区
昭和54年	弘西・内山下・深砥地区		富山地区			芳泉地区
昭和55年						芳田・芳明・甲浦地区
昭和56年						浦安地区
昭和57年	石井・三門地区		旭操地区		今地区(現西地区)	
昭和58年	南方・大元地区		旭東地区	政田地区		
昭和59年	清輝・岡南地区		幡多地区			
昭和60年			財田・竜之口地区	芥子山・西大寺南地区	西地区※(今地区より)	
昭和61年				可知地区		
昭和63年			平井地区			
平成元年					白石西地区をもとに 御南・陵南地区※	
平成 8 年			操明地区(操南地区から分離)			
平成12年				城東台地区		
平成18年		御津地区(合併に伴い加入)			彦崎・七区・多崎地区(合併に伴い加入)	
平成20年		建部地区(合併に伴い加入)				
平成21年				江西地区(合併に伴い加入)		
平成23年						甲浦・小串地区が合併
平成24年				千種地区		
平成26年					第一・第二・第三藤田地区が合併	
平成27年					曾根地区が休会	
平成28年					曾根・興除地区が合併	
平成29年				浮田・平島・御休・ 角山地区が合併		
平成30年	南方・弘西地区が合併				妹尾・箕島地区が合併	
令和元年	岡輝・清輝地区が休会				彦崎地区が休会	
令和 2 年	大野・三門・石井 地区が合併	中山地区が休会 建部地区が休会		政田・開成地区が合併		
令和 3 年		横井・野谷・馬屋上 地区が合併、庄内・ 加茂・鯉山地区が 合併、足守・蛭明地 区が休会	旭東・平井地区が合併	芥子山・古都地区が合 併、江西・浮田・平島・ 御休・角山地区が合 併、可知地区が休会、 城東台地区が休会	彦崎・灘崎・七区 地区が合併、福田 地区が休会	芳泉・浦安地区が合併
令和 4 年	御南地区が休会、 大野・三門・石井 地区が休会	津島・伊島地区が 合併、中山地区が 復会	操明・操南地区が合 併、富山地区が 休会	江西・浮田・平島・ 御休・角山・城東 台地区が合併	彦崎・灘崎・七区・第一 第二・第三藤田・興除・ 曾根地区が合併	芳田地区が休会
令和 5 年	御南地区が復会、 岡南・清輝地区が 復会、大野・三門・ 石井地区が復会	御津・建部地区が合併	宇野・三敷地区が合 併、旭竜地区が休会	西大寺・西大寺南・雄神・ 豊地区が合併、芥子山・古 都・可知地区が合併、太伯・ 大宮・幸島・朝日地区が合併	彦崎・灘崎・七 区地区が復会、第 一・第二・第三藤 田地区が復会	
令和 6 年	御野・牧石地区が合併、 岡南・清輝地区が休会		財田地区が休会、旭 東・平井地区が休会			芳田地区が復会
令和 7 年	南方・弘西地区が復会	桃丘・平津地区が合併	旭操地区が休会、高 島・旭竜地区が合併			芳明地区が休会、福浜地区が 休会、甲浦・小串地区が休会

※平成21年4月から北区中央へ



# 岡山市おやニクラブネットワーク 表彰受賞歴

岡山市公衆衛生功労賞表彰												
区	保健所長表彰						市長表彰					
	北区		中区	東区	南区		北区		中区	東区	南区	
センター	中央	北			西	南	中央	北			西	南
平成6年							御野		幡多			
平成7年										芥子山	西吉備	
平成8年								足守		浮田		浦安
平成9年									高島	可知		福浜
平成10年							大元	高松	三勲	政田		
平成11年							牧石	津島			陵南	福島
平成12年								伊島	操明		御南	甲浦
平成13年							三門	平津	富山	雄神	福田	芳田
平成14年							弘西	桃丘	宇野			平福
平成15年							清輝	馬屋下	旭操		第二藤田・興除	芳泉
平成16年							内山下・深概	庄内	操南	太伯	曾根	南輝
平成17年							大野	加茂・野谷・馬屋上	平井	西大寺・古都・御林	東睦・第二藤田	芳明
平成18年										平島・角山・開成	妹尾・箕島	小串
平成19年								横井・御津	財田	豊・長沼	灘崎	
平成20年							鹿田・南方	鯉山・建部	旭東	城東台	第一藤田	
平成21年							岡南	中山・福谷・高田	旭竜・竜之口	幸島		
平成22年	陵南・牧石		幡多	西大寺南		福浜						
平成23年	大元	伊島	高島	政田	彦崎	浦安						
平成24年	三門	庄内	操明	浮田	七区	南輝						
平成25年	御南	加茂・鯉山	三勲	古都	第三藤田	芳田						
平成26年	西	野谷・馬屋上	旭操	千種	箕島	福島						
平成27年	大野	馬屋下	富山	太伯	東睦	甲浦						福浜
平成28年	弘西	平津	操南	西大寺 西大寺南・雄神	福田	芳泉			高島			
平成29年	内山下・深概	桃丘	平井	江西	妹尾		大元					
平成30年	鹿田・出石	足守・蛸明	旭竜・財田	開成	興除・曾根	芳明						
令和1年	南方・弘西	御津	竜之口	可知	第一・第二・第三藤田					古都		浦安
令和2年	御野		旭東	城東台	灘崎			馬屋下	幡多		妹尾・箕島	
令和3年				豊					操南			
令和4年							牧石		旭操	政田・開成		南輝
令和5年							陵南		竜之口	西大寺・西大寺南・雄神	興除・曾根	
令和6年							鹿田・出石			江西・上道	灘崎・彦崎・七区	福島
令和7年							大野・三門・石井	桃丘・平津		千種	第一・第二・第三藤田	



市長表彰の様子(令和7年度)

公衆衛生事業の発展のため、親子の仲間づくりと健康づくり活動の功績が特に顕著で優秀な団体または個人に贈られます。



岡山県保健福祉関係功労者表彰												
区	保健福祉部長表彰						知事表彰					
	北区		中区	東区	南区		北区		中区	東区	南区	
センター	中央	北			西	南	中央	北			西	南
平成20年	御野											
平成21年	吉備											
平成22年					宇野	浮田						
平成23年												
平成24年												平福
平成25年												
平成26年												
平成27年												
平成28年						芥子山 鞆・朝日・大宮						
平成29年												
平成30年												
令和1年												
令和2年												
令和3年												
令和4年												
令和5年						東睦						
令和6年						芳明・芳田						福浜
令和7年												

※平成22年度から新たに保健所長表彰が設けられ、従来の市長表彰が保健所長表彰となりました。